’99　ジムカーナグランプリ　特別開催戦

関東 GP　開催レポート

今、人気のモータースポーツ・ジムカーナで、全国各地を転戦しながらポイントを争う『 ジムカーナグランプリ 』が、去る １０月２４日に茨城県で開催されました。

このGRA企画のイベントは、全国を転戦しながらシリーズポイントを競うジムカーナの大会です。全国でジムカーナの楽しさを広めると同時に、参加者全員で一緒になって運営を進めるため、見知らぬ各地のオートバイ仲間の交流を深められやすく、とても人気のあるシリーズ戦です。

今回の『関東GP』は、関東地方での初開催のジムカーナグランプリ戦となり、急遽開催が決まり準備や告知期間が短かったにもかかわらず、関東を中心に北は青森、西は関西まで全国各地から数多くの参加者が集まりました。

ジムカーナで使用されるコースは、多くの場合は自動車学校のコースですが、今回の『関東GP』のコースはなんとサーキットであった。サーキットを使ったオートバイのジムカーナは、恐らく今回が初めてであろう。参加した人達は、サーキット特有の特殊舗装やコーナーのバンク、そして長く勾配のついたストレートと大きなRのコーナーなどに戸惑いながらも、コース序盤のパイロンを使ったタイトなセクションに続き、中盤のサーキットコースそのままのハイスピードセクション、そして終盤のタイトなセクションをこなしていきました。

午後からの第２ヒート直前に、“レクチャータイム”という上級者と初級者が二人一組でコースを走って走行アドバイスを行なったら、第１ヒートでは苦労しながら走っていた初心者も、見違える程にイキイキと楽しみながらの走りに変わり、大変に驚かされました。

タイムトライアルの結果は、コースの基本がサーキットコースという事もあって、各クラス共に大排気量車が順当に上位を占めましたが、80cc の車両でクラストップのタイムを出した人や、ZRX1100でクラストップに輝いた女性もいて、腕で勝負が出来るジムカーナの特徴を改めて印象づけていました。

ジムカーナグランプリは、必要以上の車両改造を制限してあり、誰でもがノーマルの車両で気軽に参加して、一緒になって楽しめるイベントです。来年、2000 年も沖縄から北海道までの全国各地でジムカーナグランプリは繰り広げられるので、君も参加してみよう！ スポット参加も可能だ。

「関東ＧＰ　各クラス別入賞者」

Ａクラス	１位	皆川_忠二	ZX－１０	1’56″011
	２位	前田_哲男	スパーダ	1’58″606
	３位	瀬戸_吉宗	DT200 WR	2’00″444
Ｂクラス	１位	高杉_裕一	DT230 ランツァ	1’56″631
	２位	歌代_薫	ホーネット 600	2’07″015
	３位	坂本_茂久	CB750	2’24″508
Ｃクラス	１位	高橋_正和	KSR ２	1’55″659
	２位	新宮_俊克	ZRX1100	1’59″998
	３位	青木_淳	ジェイド 250	2’00″044
Ｄクラス	１位	松沢_茂美	ZRX1100	1’45″472
	２位	漆原_宏輔	ZR－７	1’49″101
	３位	伊与田_浩	ゼファー750	1’49″119
Ｅクラス	１位	手塚_淑人	ZRX1100	1’37″833
	２位	小林_裕之	ブロスＰ１	1’39″257
	３位	野々村_行展	CB－１	1’41″339

ジムカーナ文化を創造する
GRA Gymkhana Riders Association